

第 17 表

標準 S%=0.202	NaOH cc	S %	誤差 %
a	2.40	0.202	±0
b	2.30	0.193	-0.009
c	2.35	0.197	-0.005
d	2.55	0.214	+0.012
e	2.45	0.206	+0.004

## 3. 酸性平爐滓

試料 0.5g (S%=0.030) 燃焼温度 1200°C

第 18 表

	NaOH cc	S %	誤差 %
a	0.90	0.036	±0
b	0.85	0.029	-0.001
c	0.95	0.032	+0.002
d	0.90	0.030	±0
e	0.80	0.027	-0.003

## 4. 焼結鐵硫黄定量結果

試料 0.5g 燃焼温度 1200°C

第 19 表

	試料名	NaOHcc	S %	誤差%
a	室蘭焼過焼結 鐵 S=0.034	1.05 0.95	0.035 0.032	+0.001 -0.002
b	同上 S%=0.102	2.95 2.90	0.099 0.097	-0.003 -0.005
c	室蘭代表焼結 鐵 S=0.032	0.95 1.05	0.032 0.035	±0 +0.003
d	喜茂別焼結鐵 S=0.020	0.60 0.75	0.020 0.025	±0 -0.005

## V. 結 言

1. 従來の重量法に比し作業の簡易化，時間の短縮化が出来た。
2. 電解鐵，硼酸の燃焼補助剤を用いることに依り，割合低温度にて作業が行われ，爐體，爐管，ボートの破損を防いだ。
3. 定量結果も重量法に比し大差なく，相當良好な結果を得た。(昭和 27 年 2 月寄稿)

文 献

鐵鋼迅速分析法 (改版) 日本學術振興會

## —米國廣報機關の利用に就て—

(米國大使館文化交換部より下記の如き發表がありましたので會員諸君にお知らせします)

「米國政府は全世界に亘り雑誌，新聞，其他の定期刊行物に對する廣報機關を持っています。此の機關は現在日本にも存在します。此の機關は米國民の生活及び活動と米國政府の目的及び政策に關する資料提供に盡力しようとしています。これら資料は此種の情報を求める何人にも無料且つ自由に提供されます。此の米國廣報機關 (U S I S) は東京の三菱商事ビル内米國大使館の一部です。本機關は米國で出版された雑誌記事の出版権を得る爲努力しますが總ての場合にそれが成功するとは約束は出来ません。本機關に直接いらつしやるのが不便な場合もあると思いますので郵便で特定の主題に就ての記事や寫眞を請求することも出来ます。既に多くの編輯者及び作家が本機關を訪れてその機能を知り各自の要求を述べました。私共はそうした人々が出版を希望する資料を無料で郵送します。一方私共は米國から送られる材料から興味ある記事や寫眞を選んで特定の出版社に郵送することになっています。我々はこの廣報機關が皆さんのお役に立つことを望んでいます。

私共は平和が國家間の理解を通じて齎されるものであり，この理解を推進する最良の手段の一つは印刷された文字であると信じています。米國廣報機關は世界平和推進の爲の此の手段を發展させる爲に存在するのです。」